

患者さんの回復を多方面から支える

看護師

- ☐ 体力がある
- ☐ 忍耐力がある
- ☐ コミュニケーションが得意
- ☐ 気持ちの切り替えが上手
- ☐ ボランティア精神がある

患者さんに一番近い存在として 不安に寄り添い、回復をサポート

看護師として消化器外科病棟に勤務（※取材時）。主に胃・すい臓・大腸などの消化器がんの手術をした患者さんの看護をしています。看護師は医療に関わる人の中で患者さんに一番近い存在といわれています。病気は患者さんの生活に大きな影響を与え、さまざまな不安やつらさが伴うため、その気持ちに寄り添うよう心がけています。患者さんが元気に退院して行く姿を見ることが何よりもうれしく、やりがいを感じます。たくさんの人生経験がある患者さんから学ぶことは多く、自分自身も日々成長できるすてきな仕事だと思います。



この仕事についたきっかけ

中学生の頃、神経や筋肉が弱ってしまう難病にかかり入院。思春期で女性看護師さんに心を開けずにいましたが、男性看護師さんがいつも気にかけてくれ、つらい治療も乗り越えることが出来ました。私も人に寄り添い、安心を与えられる存在になりたいと思い、看護師を目指そうと決めました。

入職7年目

松田 翔（マツタ ショウ）さん

※2025年3月より救急科・救急病棟に異動



必要な資格・スキル、役に立った経験

- 看護師国家試験
- 心電図検定
- ICLSインストラクター
- 日本DMAT



お仕事の流れ



治療補助・入院生活の援助

血圧、体温、脈拍の測定や、点滴、採血などをして医師の治療を補助します。また、入院している患者さんの薬の管理や食事の配膳のほか、体を拭いたり、排泄の手助けをしたりしています。



検査や手術前後のケア

患者さんご家族に検査・手術の内容をしっかりと説明し、疑問点を聞き取ります。不安を少しでも減らし、安心して検査や手術にのぞんでもらうことも看護師の大切な役割です。



患者・家族への食事指導

消化器手術を受けた患者さんは、日常的に食事の方法に注意が必要です。栄養士と協力し、入院中から本人・家族に指導を行い、習慣づけることで退院してからも続けられるようサポートします。



カンファレンス（会議）

医師、看護師、管理栄養士、薬剤師などさまざまな職種が関わる病棟の現場では、カンファレンスが欠かせません。患者さんの情報を伝え合い、チームで問題を解決するようにしています。



▶ 365日24時間稼働の救急医療

救急センターは初療のみを行い、その後は各科の医師にゆだねる「ER型」で運営。また消化器・呼吸循環器系の病気の専門病院として、緊急内視鏡やカテーテルの検査、治療、緊急手術などを365日24時間行っています。



▶ 健康診断

健康診断センターは人間ドック健康診断施設機能評価認定施設になっており、人間ドックと自治体の大腸がん・乳がん検診を行っています。精密検査や治療が必要な場合も、病院併設なので、速やかに対応できます。



▶ 地域健康講座

地域の人の健康維持と、公衆衛生に関する指導相談事業の一つとして、地域健康講座（出張講座）を開いています。職員が講師になり、日常生活に関するさまざまな病気の予防法や治療法について、分かりやすくお話しします。



▶ ICLSコース

心停止時の蘇生トレーニングコースである「ICLSコース」を開催しています。職員がインストラクターとなり、心停止時の心臓マッサージやさまざまな治療方法について、実践練習を行いながら学ぶことができます。

被災地へDMATを派遣

災害時、被災した地域の住民や医療機関を助けるために、「DMAT（災害派遣医療チーム）」を派遣しています。能登半島地震の際にも、石川県の避難所で医師や薬剤師などと協力して活動しました。



職場ではこんな人も働いています

- 医師
- 薬剤師
- 理学療法士
- 社会福祉士
- 臨床工学技士
- 看護補助者
- 管理栄養士
- 言語聴覚士
- 診療放射線技師
- 臨床検査技師



松田さんからのメッセージ



公益財団法人 仙台市医療センター 仙台オープン病院

仙台市宮城野区鶴ヶ谷 5-22-1

TEL / 022-252-1111

開院 / 1976年1月20日

<https://www.openhp.or.jp>

職場見学の相談も可能です。

【連絡先：022-252-1111 / 総務課まで】

※諸事情によりご要望に沿えない場合もありますので
あらかじめご了承ください。

